事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人百年の森づくりの会
活動名	水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと広報活動
助成事業の種類	SDGs推進活動助成
	地球分野
事業の目的	
<p>埼玉の母なる川「荒川」流域における植林活動を通じ、森林の持つ多面的機能を学ぶと同時に、森林の恵みを享受し、健全な森づくりの推進に貢献することを目的とし、環境保全・啓蒙活動の推進活動を行うこと。</p> <p>当会は設立から25年、「水を育む山への恩返し」をコンセプトに「荒川」源流域の水源地保全のために秩父地域で落葉広葉樹を植え育ててきた。しかしボランティアだけで森づくりが出来る訳でなく、山村の活性化や賑わいを取り戻すことこそが水源の森を守ることにつながると考え、植林や講演会、山村体験等を通じて水源の森の大切さと素晴らしさを知ってもらい、山村のファンを増やし、水源の森を中下流域を含めた皆で守ろうという機運の醸成をはかる事が大切である。</p>	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
<p>水は命の源、その水を育むのは山、森林である。森林保全は生態系の保護、治山治水、河川用水の確保にもつながり、木材という再生可能な資源も生み出しさらに、森林の豊かさの復活は山村の活性化に影響し、ひいては地方の再生にもつながる。</p> <p>又、森づくりは長いスパンを要するもので会の名称の通り、盛衰はあっても植えた樹々を育て・見守り続け、その環境を見守ることも含め、活動を継続することが肝要である。</p> <p>秩父地域の自然災害の防止や活性化、中下流域・海域での豊かな生態系の保全のためにも、「荒川」の源流域の水源地を守る事が重要である。</p> <p>森を守るには、林業を含む地元産業や地域全体の発展が必要であり、森林保全・生態系を含む森の豊かさ・森を支える山村地域の産業や文化への人々の興味や関心を引き出すことが大事である。</p>	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・和名倉山の森づくり 第53回和名倉山植林ワーク 10/26(土)・27(日)～二瀬尾根探訪と生態系観察用トレイルカメラのデータ回収と設置 ワーク以外 7/27・28、10/13・14、11/30・12/1、1/3・4～害獣被害調査、植生調査、トレイルカメラ設置、データ回収、植林地整備 ・(長瀬)宝登山、花の森づくり 下草刈り～2024年度 第3回6/16(日)、第4回7/21(日)、第5回 9/8(日) ・1回旧三峰分校事業 宿泊型の高校生対象の森林体験学習会 8/5(月)～7(水) 於;旧大滝小学校三峰分校 森の囲まれた校舎と校庭で 大鋸(おが)引き、間伐材の板で木工、カエデ苗植栽、割った薪でのウドン調理、キャンプファイヤーと花火他 ・第28回公開講座 11/10(日)「身近な環境の生態系・多様性を知ろう」～さいたま市見沼たんぼの首都高ビオトープ見学と生態系保全活動 ・上記の活動を含め、広報誌を発行・ホームページ掲載で周知を図った。 	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・和名倉山の森づくり 2基のトレイルカメラ設置(1基は途中移設)、データ回収、植林した広葉樹の苗はある程度育ったのでここ2～3年の鹿害は少ない(防止ネット一部片付け) ・(長瀬)宝登山、花の森づくり 下草刈り 第3回～第5回で累計34名参加、植樹したサクラ類、ツツジ類、クリやカエデなどの広葉樹林のほぼ全域の下草刈りを実施 ・第1回旧三峰分校事業 宿泊型の高校生対象の森林体験学習会 高校生延べ17人参加(大人延べ13人) 参加者の事後インタビューでは「大鋸での間伐材切りは感動的」等好意的な意見が多数であった ・第28回公開講座 一般会場での勉強会と違い参加者は10名と少なくなったが、身近な生態系を知る良い機会となった 	

費用面での工夫
百年の森づくりの会の活動で助成金対象の会活動での費用を安く抑えるために行った工夫
・資機材を購入する場合、Net等を活用し仕様・性能・材質・耐久性も勘案しながらより安価な物品を購入するよう努めた
・金額は少額であるが、手数料がかからない振込方法を選択し、年間での振込手数料は0円となった
・企画内容が当会の事業目的に合致する場合、講演会等では会場費がかからない現地見学会も選択肢とした
・効率的に郵送費を使うため封筒を含めた資料重量を当該単価の重量範囲上限に抑える工夫をした
・活動のための移動は全て個人負担とし、可能な範囲で公共交通機関(原則個人負担)を用い、駐車料金(原則会負担)は年間0円とした
・印刷費、会議費を安価或いは無料に押さえるため、さいたま市市民サポートセンターを有効に活用した
地域社会への還元
山村ファンを増やそうとする啓蒙活動は、短時間で目に見える成果が顕れるわけではないが、長い目で見た効果を信じて今後も継続していきたい。
2024年度、埼玉県社会貢献ワークショップを通じて、地域の子ども支援NPOともつながりが出来たのでそれを継続していきたい。
第1回旧三峰分校事業森林体験学習会の模様を会報・ホームページで地域の人々を含む一般に公表し、森林環境教育の重要性を広めた。
(長瀬)宝登山の植林地は長瀬町の観光資源である宝登山ハイキングコースに隣接し、長瀬町が目指す花の森づくりに貢献している。
今後どのように事業を継続し発展させるか
百年の森づくりの会が秩父での活動を始めて20年以上経過します。事業活動への参加者は高齢化してきており、今後大学生や若い方々が多く参加出来るように工夫していくことが課題です。
水源の森づくり植林活動は継続して実施していくとともに、「水源の森は皆で守る」という啓蒙活動も充実していきたい。
環境教育活動にも力を入れていきたいと考えており、2024年度から始めた旧大滝小学校三峰分校での宿泊森林体験会を将来を担う小中学生にも対象をひろめ、子供達に森の大切さを知ってもらおう活動を続けたい。2025年度の第2回旧三峰分校事業では、小中学生の参加、大学・高校・さらに若い大人も含めたボランティアを集めるため他の子供支援組織や高校・大学とも協議を続けたい。
これらの環境教育活動では、2024年から力を入れ始めた、地域の子ども支援NPO等との連携も深めていきたい。

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人百年の森づくりの会

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	483,000	482,000	△ 1,000	
自己資金	53,982	53,649	△ 333	
活動実施による収入等	0	0	0	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	536,982	535,649	△ 1,333	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	6,900	0	△ 6,900	
通信運搬費	46,340	35,589	△ 10,751	
旅費交通費	25,200	0	△ 25,200	
消耗品費	258,795	286,892	28,097	
備品費	0	0	0	
委託費	151,800	159,500	7,700	
謝金	0	0	0	
人件費	20,000	42,000	22,000	
その他	27,947	11,668	△ 16,279	
支出の部 合計	536,982	535,649	△ 1,333	